

5/9

合併振興基金を活用 下館駅南口のシンボルに



昭和46年に、松葉老人倶楽部が苗木を植えたことに始まり、下館駅南口のシンボルとして愛され続けた桜並木。老朽化により伐採され、姿を見ることはできなくなってしまいましたが、その歴史を後世に残すため、下館さくら商店街振興組合（滝田宗浩理事長）により顕彰碑が建立されました。今後も地域の発展の中心となることが期待されます。

り伐採され、姿を見ることはできなくなってしまいましたが、その歴史を後世に残すため、下館さくら商店街振興組合（滝田宗浩理事長）により顕彰碑が建立されました。今後も地域の発展の中心となることが期待されます。

5/11

世界に一つのオリジナル鎧兜 健やかな成長を祈る

日本の伝統文化である端午の節句を若い世代に伝えようと、下館青年会議所地域創生実行委員会（高田一希実行委員長）主催で「端午の節句フェスティバル1.0」が旧庁舎跡地で初開催されました。下館青年会議所のスローガンは「挑戦」で、これまでにない新しい形に挑んだイベントです。

イベントに参加した子ども達が「鎧や兜を作るのは初めてで、思っていた以上に難しかった。でも自分だけの鎧を着て街を歩く経験はとても楽しかった」と笑顔で話す様子が印象的でした。

このイベントは子ども達にとって、記憶に残る特別な一日となったことでしょう。これからも下館青年会議所の挑戦は続きます。

5/19

ジロ・di・ちくせい こだますいかでおもてなし



本市をスタートして周辺市町村を自転車で周回するジロ・di・ちくせい（野澤久子会長）が開催されました。交通ルールを守りながら、各々のペースで完走することを目的とした本大会は231人が参加。最初の休憩地点となった宮山ふるさとふれあい公園では、旬の「こだますいか」でおもてなし。参加者からは「皮の際まで甘くて美味しい」と好評でした。

4/28

アームレスリング県大会 二つの腕が交差する「手腕の攻防」



JAWA 茨城県アームレスリング連盟（永井昌儀理事長）主催のアームレスリング大会がコミュニティプラザ（スピカビル6階）で開催されました。今大会には、全国から10～60代の力自慢190人が参加。鍛え上げた筋力、テクニック、メンタルがぶつかり競い合いました。各階級3位以内の選手は、12月に土浦市で開催予定の全国大会へ出場します。



5/26

筑西市消防団水防訓練 出水期を前に防災力を強化

水害への対応力強化のため、母子島遊水地で市消防団（塚田俊夫団長）が水防訓練を実施しました。この訓練は、毎年出水期の前に水防意識を高めるため行われており、当日は消防団や消防署、下館河川事務所、筑西土木事務所などの約500人が訓練に参加。約800袋の土のうを積み上げ、浸水を防ぐ積み土のう工法や堤防の決壊を防ぐ月の輪工法といった水防工法を実践しました。今後も、安心安全のため防災体制の強化に励んでまいります。



6/8

1,800 株のあじさいが見頃 ふれあいアジサイ祭り

県西生涯学習センター（法堂泰明センター長）周辺に咲く1,800株のあじさいを、多くの人に見てもらいたいと始まった「ふれあいアジサイ祭り」。

このイベントは、下館シニアライオンズ、県西おやじの会、高校生ボランティアなど、たくさんの地域の人に支えられ開催されています。会場内では、あじさいをテーマにした絵画展、企業や団体による販売・体験コーナー、ステージ発表などが行われました。先着300人限定のアジサイ苗木プレゼントには長蛇の列ができ、とても人気で「念願叶って3年目でやっともらうことができた。大切に育てて庭や部屋に飾りたい」とアジサイを手にした参加者は嬉しそうに話していました。



筑西市初の地域商社を設立 「Chikusei-mine 株式会社」

市は、地域産品の発掘や商品開発、販路開拓などを官民連携で推進するため地域商社を設立しました。今後、市内事業者のみなさんや地域おこし協力隊員とともに、地域産業の活性化を目指します。

事業者

魅力ある商品



筑西産品の
価値を高める
・商品企画開発支援
・地域産品のマーケティング
・販路開拓 など

地域商社

提案・顧客の声



筑西市

ふるさと納税

ちくせいまいん
Chikusei-mine 株式会社

設立日：4月 11 日

所在地：田中町丙 360

代表取締役 須藤 茂

専務取締役 大畑 芳道

取締役

永島 直樹 片平 貴子 篠崎 栄一

地域おこし協力隊

消費者動向の分析や
効率的な PR など

5/15

サニタリーケース
約 400 個を寄贈



筑西市地域女性団体連絡会（後藤
すい子会長）から「現代女性が抱える
生理の貧困問題を解消したい」と、
市内の中学1年生女子全員に手作り
のサニタリーケース409個を寄贈
していただきました。

5/15 2年連続金賞受賞
スーパーフルーツトマトてるて姫



KEK（協和施設園芸協同組合）で販売
を行っている市特産品のスーパーフ
ルーツトマト「てるて姫」が野菜ソム
リエサミットで金賞を受賞し、生産者
がその喜びを須藤市長に報告しました。
ぜひ召し上がってみてください。

5/8 福島県伊達市に
市特産品のこだますいかを PR



「伊達氏」をつうじて歴史的な繋がりのある福島県伊達市（須田博行市長）を須藤市長が訪問し、旬を迎えたこだますいかをPRしました。今後も両市の発展や特産品の認知度向上に向け、交流を深めていきます。

5/24

犯罪のない地域へ
「社会を明るくする運動」強調月間



今年で74回目となる、社会を明るくする運動の強調月間が7月1日（月）から始まるのを受け、西地区保護司会筑西分区（石島雄二分区長）のみなさんが市役所を訪れ、須藤市長に内閣総理大臣のメッセージを伝達しました。

5/22

観光振興に尽力
観光振興事業功労者関東支部長賞



市観光協会長や、県観光物産協会理事を務める鈴木勝家氏は、30年以上にわたり、本市の地域資源を活かした観光振興に尽力されました。「今後も本市の魅力発信に努めてまいります」と鈴木会長。

5/21

関東道路（株）から
教育関係に100万円の寄付



関東道路（株）（武藤正浩代表取締役）から、子どもたちの郷土愛醸成に役立ててほしいと100万円の寄付をいただきました。この寄付は今年で15回目となり、子どもたちの健全な育成のため、大切に使わせていただきます。

筑西市からありがとう
～感謝状贈呈～

自治会長として多年にわたり住民の親睦を深め、地域の発展に多大な貢献をされました。

＊中村 邦彦 様
＊加納 良祐 様
＊生沼 清成 様
＊廣瀬 誠治 様
＊柴 伴男 様
＊星野 正幸 様
＊添野 正人 様
＊笛木 正人 様

＊廣瀬 孝義 様
＊木村 剛 様
＊水越 輝夫 様
＊深見 保 様
＊水柿 重壽 様
＊爲貝 博光 様
＊閑口 秀男 様
＊大森 治雄 様

＊小嶋 勝五郎 様
＊土井 美知江 様
＊稻葉 真佐夫 様

